

# 愛知県感染症情報

## 平成 12 年第 5 週（2 月第 1 週）

### （コメント）

インフルエンザの報告数は、5,595 人で定点当たり 45.5 人で先週とほぼ同じ報告数でした。依然流行していますので、うがい、手洗い等を励行してください。

感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌、水痘は、先週に引き続き依然流行しています。

### （先生方からのコメント）

- ・ インフルエンザでの熱性ケイレンが多い 5 名（3 才男 2 名、3 才女 2 名、1 才女、全員ワクチン 2 回接種）  
（豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科）
- ・ インフルエンザ様疾患は減り、感染性胃腸炎は増えてきました。  
検査キットがない為、インフルエンザの確定ができません。  
（西尾市 やすい小児科）
- ・ 17 才(女)流行性耳下腺炎は 11 才の妹より感染、潜伏期間 3 週間  
(21 日)  
（岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院）
- ・ ロタ 0 才男  
FluA(+)インフルエンザがまだ多い。  
2 年連続罹患例も散見します。  
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ カンピロバクター 4 才男  
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ 流行性耳下腺炎 6 才男ワクチン歴有り  
（知立市 近藤こどもクリニック）
- ・ ディレクティジェン FluA 陽性 11 例（1 才男、1 才女、2 才男、3 才男 2 例、4 才男 2 例、4 才女、6 才女、10 才女 2 例）  
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- ・ 4 才男急性腸炎 サルモネラ腸炎 0-9  
（東海市 小児科ハヤカワ医院）

- ・ インフルエンザ流行していますが、急増なく横ばい状態です。  
（今週から成人で B 型様の症状散発）  
マイコプラズマ感染症散発（家族内での感染例あり）  
ロタ抗原陽性 1 才女（症状は軽症で 3～4 日で改善）  
咽頭結膜熱 1 才男  
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）
- ・ インフルエンザは相変わらずですが、又ウイルス性胃腸炎が増加しました（ロタウイルス陽性例もある）。  
細気管支炎（RSV(+)） 4 ヶ月  
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
- ・ インフルエンザに伴う仮性クループが目立ちます。  
（小牧市 志水こどもクリニック）
- ・ 今週はインフルエンザの流行が再熱しました。  
（春日井市 かちがわ北病院）
- ・ インフルエンザ A（迅速反応確認済）19 名（男 4 名、女 15 名）  
肺炎併発 6 名  
腎盂膀胱炎併発 3 名  
ロタウイルス感染症 4 名（3 才男、1 才女 2 名、8 ヶ月女）  
アデノウイルス陽性者 8 才女  
（尾西市 城後小児科）
- ・ 今週は全体に患者さんが減って落ち着いてきました。  
インフルエンザも減っているようです。  
（一宮市 あさのこどもクリニック）
- ・ インフルエンザ多し、FluA(+)が中心 2 回目のインフル患者も 2 例あり  
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
- ・ インフルエンザ感染症は昨年ほどの流行は今のところないようです。嘔吐を伴う感染性胃腸炎、A 群溶連菌感染症が再びみられるようになりました。  
（江南市 みやぐちこどもクリニック）

（1～3 類感染症の発生状況）

発生はありません。

（全数把握の 4 類感染症の発生状況）

後天性免疫不全症候群患者（AIDS 患者）1 名。

第3週（平成12年1月17日～23日）の4類感染症の全国状況  
インフルエンザの報告が急増しており、定点当たり報告数が30を超えた都道府県が14ある。特に、東海・北陸と瀬戸内海沿岸の中国・四国地方からの報告が多くなっている。患者の年齢階級別で見ると9歳以下が全体の約60%を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、例年の同時期よりかなり多くなっている。水痘は宮崎県で定点当たり報告数5.1、佐賀県で4.6のほか、ほぼ全国的に流行が見られる。咽頭結膜熱の定点当たり報告数が例年よりやや多く、手足口病は非流行期であるが複数の県からまとまった数の報告があり、定点当たり報告数は、統計学的に例年より有意に多い。

（Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供）